

巻頭言

新潟大学大学院消化器内科学 寺井 崇二

1. 病態理解

(1) 肝線維化，肝硬変の進展

山梨大学大学院消化器内科学 土屋 淳紀

(2) 病理像の特徴

金沢大学人体病理学 原田 憲一

(3) 肝線維化進展に伴う血管系変化，リンパ管変化

イェール大学内科消化器科 岩切 泰子

2. 疫学・予後

(1) 肝硬変の病態・疫学 ―近年の傾向や移行期医療としての FALD も含めて

大阪医科薬科大学第 2 内科 西川 浩樹 他

(2) 肝硬変症の予後

国立病院機構長崎医療センター 八橋 弘

(3) Acute-on-chronic liver failure (ACLF)

―診断，予後，新規治療の可能性

埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科 持田 智

3. 診断・評価

(1) 肝硬変診療のガイドライン ―とくに診断について

奈良県立医科大学消化器内科 芝本 彰彦，吉治 仁志 他

(2) 線維化マーカー，進展推移のバイオマーカーの可能性

―Baveno criteria に基づく HVPG の意義

大阪公立大学大学院肝胆膵病態内科学 小谷 晃平，河田 則文

(3) AI による肝疾患診療の現状と展望 ―肝硬変症の診断と予後予測

東京大学医学部附属病院消化器内科 中塚 拓馬，建石 良介

(4) 超音波エラストグラフィによる非侵襲的肝線維化評価と臨床応用

―MASLD における意義

岩手医科大学消化器内科 黒田 英克

(5) MR エラストグラフィによる画像診断，肝硬度測定

新百合ヶ丘総合病院消化器内科 今城 健人，中島 淳 他

(6) 超音波内視鏡(EUS)を用いた門脈圧較差の測定

獨協医科大学内科学(消化器) 山宮 知，入澤 篤志 他